

## STOP・THE・格差社会!すべての働く者の連帯で「安心社会」を切り拓こう!

連合鳥取は11月22日(金)、倉吉未来中心において「第21回定期大会」を開催し、向こう2年間の運動方針と役員体制、連合鳥取第3次男女平等参画推進計画を確認しました。

### 五十嵐会長あいさつ要旨

#### 東日本大震災

大震災・原発事故から2年8ヶ月が経過し、被災地では復興が少しずつ進みつつあるが、再生の道のりは程遠く、今でも30万人の方々が避難生活を余儀なくされている。連合鳥取は、被災地の特産品購入など、被災地に寄り添う運動を行ってきた。今後も、被災地の復興・再生を支援するとともに、震災の風化をさせないよう、全国の働く仲間と連携し支えていきたい。

#### 政策制度の実現と「政治活動」の取り組み

私たちの描く「働くことを軸とする安心社会」を実現させるためには、政治との関わりは不可欠である。そのために、昨年



あいさつする五十嵐会長

の衆議院選挙、本年7月の参議院選挙に取り組みできた。しかし、私たちが支援する民主党は、両選挙で大敗北を喫し、鳥取県においても、湯原俊二さん、川上義博さんと衆参2名の国会議員を失うこととなった。また、参議院選挙の全国比例では、全体で7名の議席に留まり、連合組織内候補も9名のうち3名の当選が叶わなかったことは本当に残念である。

一方、地方自治体選挙の伯耆町議会選挙・倉吉市議会選挙・北栄町議会選挙については、地協を中心に取り組みを進め、立候補された全員の当選となった。ご協力いただいた組合員とすべてのみなさまに心から感謝する。国政選挙結果からは「これまでの民主党に対する信頼を回復できなかったこと」、そして「一度失った信頼は容易には回復できないこと」が明らかになった。民主党には、「地方も本部も危機感を共有し、覚悟を持って全力で党再生に向けての取り組みを進めていただくこと」を要望する。あわせて、私たちの選挙の取り組みについても総点検が必要だと考えている。

「連合はなぜ、民主党を支援するのか?」それは、民主党政権が掲げる「共に生きる社会」と、私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会」の理念や社会像が共有できること、そして「明らかに新自由主義とは異なるもの」だからである。民主党政権時代には、雇用労働者や、子育て世帯、高齢者に対する、評価すべき政策がたくさんあった。一方、今の安倍政権は、新自由主義の下で、「限定社員制度」や「派遣労働者の期間の延長や職種の拡大」など、再び雇用労働者分野への規制改革を押し進めていくことをストップさせるには、もう一度、自民党に対してできる勢力を作らなければならぬ。加えて、「地方での政治基盤の強化」や「連合の政策を自らの手で確実に成し遂げる」ためには、組織内議員を一人でも多く生み出していく努力を怠り、いかなければならぬと考える。今後、みなさんと相談しながら前へ進めていきたい。

#### 組織拡大・強化の運動

連合は、「労働組合をつくり、労働者のセーフティネットを張る」ことを目的に、2020年までに「1000万人連合の実現」をめざす取り組みを進めている。非正規労働者や中小零細企業で働く人たちに、労働組合の輪を広げ、働く人すべてのインフラをつくらな

ければならない。連合鳥取も32000人を目標に組織拡大を進めているが、多くの労働現場で企業の構造改革等により仲間を失ってきている。一方、産別の努力で新組織を立ち上げていた働き、多くの働く仲間がセーフティネットを張ることができた。

しかし、労働組合組織率は全国で17.9%と過去最低になっており、鳥取県でもその数値を下回っている。今一番悲鳴をあげている2000万人以上といわれる非正規労働者、早く手を差し伸べなければならぬ。正規・非正規を問わない「組織拡大」は労働運動の最優先課題である。引き続き、構成組織と連携し、安全弁としての労働組合づくりに全力をあげていく。

#### 2014春季生活闘争

当初は、安倍政権による経済政策などにより実態だけが先行する中で先行きの見えない交渉環境だった。中央では、輸出産業や流通産業の一部の企業で「時金の満額回答」や「賃金のベースアップ」の回答があったが、中小企業が厳しい交渉が行われ、大企業と中小企

業の格差がさらに広がる結果となった。現政権の下での経済対策や金融対策、成長戦略を見る限り、「最初に経済成長ありき」で「賃金は後からついてくる」という考えになつてきている。「経済成長がなされ」、「消費税が引き上げられ」、「消費が引かない」、その結果、国民生活だけが置き去りにされるという可能性がある。さらに、今の政府は「経済団体に賃金増額を申し入れる」など、「労使自治」に手を突っ込むようなパフォーマンスを行っている。本来、政府としての役割は「超少子高齢化や貧困の格差の拡大」、「不安定で低賃金の増大」など、デフレに繋がる多くの課題に対し行政として早急に対応することである。「東京中心の大企業だけの対策だけではなく、日本の企業の90%以上を占める中小企業の後押しを行い、生活不安や雇用不安を取り除き、GDPの6割を占める個人消費に繋げる政策を実施する」ことが必要である。2014春闘は、全構成組織で「賃金全体の底上げ」と同時に、「月例賃金」にこだわらず、国民生活の安心と安定に大きく影響を及ぼす取り組みを進めたいと考えており、労働組合の真価が問われる

春闘になる。大変厳しい鳥取県だが、構成組織と一体となつて結果を残せる2014春闘にしていく決意である。

「男女平等推進」、「高齢者の環境改善」、「その他の取り組み」

連合鳥取は「男女平等推進計画」の取り組みを一次、二次と進めてきた。この運動は、これからの日本の社会のあり方、超少子高齢化社会を迎えるにあつても大変重要な取り組みである。男女の賃金・処遇の格差や雇用形態、採用区分、配置の正、職域や雇用採用の拡大などを図り、「男女が共に生き、仕事も家庭も子育ても男女共同で担い、共に社会で活躍できる」社会を作らなければならない。

日本全体の意識も「夫は外で働き、妻は家を守る」という意識が根強く、まだまだ女性が仕事を続けにくい環境にある。労働界でも女性の参画率は低い。私たち自身も意識を変え、本大会で提起する「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画案」の推進に向けて全構成組織をあげて取り組んでいき

たい。

加えて、年金や医療問題という高齢者に直結する課題は、高退連(鳥取高齢退職者団体連合)と連携しながら取り組みを進めていく。

また、相互扶助として

労働組合が立ち上げた「労働金庫」「全労済」の趣旨を十分ご理解いただきながら、「労働運動」「全労済運動」への取り組みを強化するとともに、「共助」として勤労者全体の福祉運動である労働協働への支援・ご協力も併せてお願い申し上げます。

まとめ

以上、何点か所感の一端を述べさせていた。その他、多くの重要な方針・課題にあつた。この集を一層高めたい。連合鳥取の向こう1年間の運動を「より確かなものにしていく決意を込めて、冒頭のあいさつと

### 報告事項・議案の審議結果

以下の全項目が承認されました。

- 《報告》・2013年度活動・会計決算報告
- 《議案》・2014年度運動方針
- ・2014年度予算
- ・連合鳥取第3次男女平等参画推進計画
- ・役員選挙

## 連合鳥取第3次男女平等参画推進計画〈抜粋〉



### 連合鳥取のめざす男女平等参画社会の理念と意義

- 男女が対等・平等で人権が尊重された社会の実現をめざして、様々な分野への女性参画の機会が保障され、役割と責任を分かち合う社会の実現に向けた取り組みを展開する。
- 女性や若者、非正規労働者など多様な属性、経験や価値観をもつ人々が結集して個性と能力を発揮する、多様性と活力のある組織となり社会的影響力を高めていく。

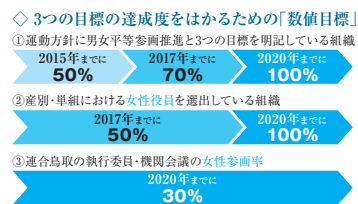
※各構成組織のトップのリーダーシップのもと、総力をあげて取り組む

◇運動の目標 「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合鳥取として3つの目標を掲げ、それぞれの分野の課題に取り組む。

- ①働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)の実現と女性の活躍の促進  
年齢や性別、雇用形態を問わず、だれもが働きがいのある人間らしい仕事と公正な労働条件で、多様な働き方を通じて社会に参加し、つながることができるようにする。とりわけ、働くことを希望しながらそれが実現していない多くの女性の就労を支援することは、女性の貧困リスクを防ぎ、自立を促すだけでなく、社会・経済に活力をもたらす。
- ②仕事と生活の調和  
男女双方が仕事と生活の調和を図れるようにする。とくに、妊娠・出産、育児や介護にかかわる女性の就労継続や男性の家庭・地域への参画の拡大のための環境整備、労働時間の短縮をはじめとする働き方の見直しを進める。
- ③多様な仲間の結集と労働運動の活性化  
性別、年齢、雇用形態を問わず多様な人々が結集し、すべての働く者のために、個性と能力を発揮する、活力に満ちた労働組合にする。女性の積極的かつ自発的な参画と、男女平等参画を組織全体の取り組みとするリーダーの指導力の発揮が必要である。

### ◇連合鳥取の取り組み

- ①男女平等参画の推進とフォローアップの強化
  - ・推進計画に対する取り組みとフォローアップ体制を強化
  - ・アンケート調査の実施と活用で推進体制を強化
  - ・先進的な取り組み事例の紹介などによる取り組み推進に向けた環境づくりの支援
- ②クォータ制の導入とポジティブ・アクションの強化
  - ・女性参加率向上に向けた各種機関会議・集会・学習会などへの「クォータ制」導入
- ③組織・労働・政策課題と男女平等参画の一体的な取り組み
  - ・春季生活闘争や政策・制度要求などの各種運動と一体的な取り組みの実施 ・外郭団体への女性委員の推薦の実施
- ④人材育成の充実
  - ・労組役員を対象にしたリーダー養成や男女平等についての研修とフォローアップの実施による人材育成・男女平等参画をテーマとした集会・学習会・フォーラム等の開催(年1回程度)
- ⑤女性委員会の組織強化
  - ・女性のエンパワメントの促進 ・女性の意見の集約と議論、経験交流等による組織の支援・強化
- ⑥構成組織の取り組みの支援
  - ・男女平等参画推進の取り組みの共有化 ・全体化に向けた情報提供の実施
- ⑦地域協議会の取り組み
  - ・上記内容に準じた取り組みの強化と推進 ・2020年までに幹事の女性参画率30%以上を達成



- ◇構成組織の取り組み
- ①男女平等参画推進方針の決定
  - ②男女平等推進委員会の設置と推進計画の策定・実行
  - ③男女平等推進担当部署の設置
  - ④女性の意見が反映される組織づくり

## 働きやすい職場づくりのキーワードは「尊重と共感」 — 連合鳥取東部地協「労組対象研修会」を開催 —

連合鳥取東部地域協議会は、11月11日(月)、鳥取市の「さざんか会館」において、人権啓発活動の一環として『労働組合対象研修会』を開催しました。

講師として、鳥取市人権推進課から人権教育推進員の福井恵子さんをお招きし、「働きやすい職場をめざして～ハラスメント防止～」と題し、講演をいただきました。研修会には、各産別・単組から23名が参加し、パワーハラスメントの定義やその実態、パワハラ予防や対処方法などについて学びました。

パワハラやセクハラ、また近年ではマタニティーハラスメント(マタハラ:働く



女性が妊娠・出産を理由に解雇・雇止めをされることや、職場で受ける精神的・肉体的なハラスメント)といった職場のハラスメントが後を絶たない状況にある中で、厳しい指導とパワハラの違い、職場でのハラスメント防止の必要性や予防するためにはどうしたら良いかなど、参加者全員で理解を深めました。

最後に講師の福井さんから、『働きやすい職場とは、お互いが尊重しあい柔軟にコミュニケーションをとることができ、みんなが気持ちよく、安心して働ける環境をめざすことが大切』とまとめられ有意義な研修会を終えました。

すべての社員は、その家族にとって、  
自慢の娘や息子であったり、  
尊敬されるお父さんやお母さんであったりする。  
そんな人たちを、職場のパワーハラスメントで  
苦しめたりすることがあってはいけません。

「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議」で  
紹介されたある企業役員からのメッセージ

## 「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーン — 労働者保護ルール改悪阻止街宣行動を実施 —

連合は、「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーンの取り組みの一環として、全国で「労働者保護ルール改悪阻止」の街頭宣伝行動、集会を実施しています。

この行動は、今行われようとしている解雇ルールや労働時間法制・労働者派遣法の見直し、政府が提起する「限定正社員」制度がクビ切りしやすい働き方となる懸念をはらんでいることなど、「規制緩和の名の下に労働者保護ルールを後退させる政府の姿勢に断固反対していく」という連合の考えを広く訴えるために行っているものです。

連合鳥取は、東部・中部・西部地域協議会が主体となり、県内3カ所で街宣活動を実施しました。

このうち、中部地域協議会は、11月19日(火)夕方の寒風吹きさらす中、倉吉駅前周辺で地協役職員が「労働者保護ルール改悪阻止」のチラシが入ったポケットティッシュを配布しました。「派遣労働がずっと続けられること」、「解雇の金銭解決制度の創設、ホワイトカラー・イグゼンプションという残業代不払い制度」、「限定正社員という勤務地や仕事内容が限定された正社員ではあるが解雇ルールとセットで議論されていることが問題である」ことを市民へ訴えました。

また、ティッシュ配布を行う前には、倉吉市内を2時間かけて街宣車で啓発活動も行いました。

**STOP 労働者保護ルールの改悪!**  
**残業代ゼロ、クビ切り自由化はNO!**

**連合は反対!**

- 「“生涯”ハケンで“低賃金”のハケン法 [2014年の改正を想定]
- 残業代ゼロ制度の導入 [2015年度導入を想定]
- クビ切り自由化 [2015年度導入]
- クビにされやすい正社員制度(限定社員制度)の普及・拡大 [2015年度導入を想定]



# “ザ・議員”

## 上田 孝春 鳥取市議会議員

昨年12月衆議院選挙、本年7月参議院選挙で自民党が圧勝、安倍政権が再誕生して以来、デフレ脱却の名のもと、アベノミクス、経済政策、2020年東京オリンピック招致が決定と、国民の中には景気回復への期待が大きくなっています。しかし、恩恵を受けるのは大企業、大都会、富裕族中心の政策事業展開で、8割以上の大都市、中小企業、そこで働く者、生活者、国民にとっては増税、負担増が大きく、小泉政権以上に格差社会の拡大なることを心配しています。

特に、地方自治体に身を置く一人として、今後の自治体運営に与える影響も大きく、首長、議員、議会は今以上に役割、責任が求められてまいります。連合鳥取のみなさまにご推薦、支援をいただいている議員の一人として、自分の立ち位置をしっかりと踏まえ、現場の声、ご意見をしっかりと聞きながら、その実現に努力してまいりたいと考えています。

なお、課題解決には、連合推薦の仲間を一人でも多くすることが大きな力となります。連合のみなさまのご理解とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。



2月議会の様子

## 松本 熙 境港市議会議員

連合鳥取のみなさまには日頃より大変お世話になっております。連合鳥取執行委員会で来年2月の境港市議会議員選挙に推薦決定をいただき心より感謝申し上げます。

あわせて、日本教職員組合の組織内候補として推薦をいただき心強い思いであります。引き続き民主教育確立と働くことを軸とする安心社会の実現に向け、微力ながら地方自治体議員として頑張る所存です。

いま大切なことは、子育て、高齢者福祉、環境、平和、4つの安心です。「子どもを守り、未来を守る」と訴え、3期目の選挙に向かいます。組合員のみなさまをはじめ、ご家族、友人、知人の方々のご支援をよろしくお願い申し上げます。



一般質問の様子

# Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

全国一斉なんでも労働相談ダイヤル

### 就活応援ホットライン

相談無料  
なんでも労働相談ダイヤル  
0120-154-052  
携帯電話、スマートフォンでもOK!

2013年12月10日(火)~11日(水) 午前10時~午後7時  
上記期間以外も受付ています!

### 連合鳥取 2014新春のつどい

◇日時 1月24日(金) 16時30分開会  
◇場所 ホープスターとっとり(鳥取市)

### 連合鳥取 2014春闘開始宣言集会

◇日時 2月8日(土) 13時30分~(予定)  
◇場所 鳥取県立倉吉体育文化会館(倉吉市)

## ピークカットアクション21

省エネにつながる21のワザ

冬も連合が提案する21個の節電アイデア「ピークカットアクション21」に取り組み、電気を使う時間をみんなで分け合うとともに、生活習慣の見直しにつながっていきましょう!

URL <http://www.rengo.org/>  
エコライフ21 検索

みんなでアクション!  
冬のピークカット!!

### 2013 連合エコライフ21

本は、夕方以降のエアコンと照明に注意じゃ!



※新入組合員学習会資料に最適



「ザ・社会人」(2013年度版)が発行されました。

ご希望の方は連合鳥取へお問い合わせください。

# てんてんてんてん

また最近、「食」の偽装表示でメディアが賑わっている。以前は実感しない好景気の中、経営者だけがボロ儲けし、それを下支えしてきた現場のパート労働者などが冷遇され、その不満を爆発させた格好で内部告発が起きた▼これは反乱であり、自爆テロのようなものである。そして、老舗料理店や食品加工会社は廃業に追い込まれたが、仕方がないことだ▼しかし、結果的に全員がその職を失うことになった。社会的には良かったであろうが、労働者個人が職を辞して行ったことには複雑だ!▼現在では、職があっても多くは非正規労働者となってしまう。それで「安心」や「将来展望」は望めるのであろうか?仮に正社員になってもブラック企業などではたまらない▼憲法27条では「すべての国民は、勤労の権利と義務を負う」とあるが、「権利」と「義務」の関係、また「仕事」と「生活」の関係、すべてバランスだ!  
バランスが崩れると幸せにはなれない。

(蔵人)



再生紙を使用しています